

御油小「校長室より」1 学期学校の風景 1 4



【4年生 プラネタリウム見学 7月14日】

4年生の児童たちがプラネタリウムの見学に出かけました。ドームいっぱいに広がったプラネタリウムの星空は、まるで本当の夜空を見上げているかのような美しさで、暗転した瞬間に子どもたちからは「うわぁ！」と歓声が上がっていました。見学では、春夏秋冬それぞれの季節ごとに見られる代表的な星座や星の動きのきまりについて学習することができました。教科書だけではなかなかイメージしづらい宇宙の広がりや星の輝きを、五感を通して体験することができ、理科の学習としての理解がさらに深く、確かなものへと繋がったようです。

こうした本物に出会い、本物から学ぶ体験は、子どもたちの知的好奇心や豊かな感性を育む上で大切なものです。夜空を見上げるのがちょっぴり楽しみになるような、そんな素晴らしい学習の機会を、これからもぜひ大切に続けていきたいと考えております。夏休みには、ぜひお家でもお子様と一緒に豊川市ジオスペース館に出かけてみてください。



【5年生 きららの里 野外活動 7月15日 16日】

5年生の児童たちが、7月15日（水）から16日（木）までの1泊2日で、きららの里へ野外教育活動に行っていました。出発にあたり、私からは子どもたちへ「自立」と「メリハリ」の2つを意識して過ごそうと話をしました。子どもたちはそれぞれがこの1泊2日の目標をしっかりと胸に抱き、自分たちの力で考えて行動しようと努めていました。

初日は、班で協力して取り組んだカレー作りと、夜のキャンプファイヤーを行いました。自分たちで作ったカレーの味は格別だったようで、笑顔があふれていました。2日目は森林教室と木工教室を行い、自然の温もりに触れながら静かに学びを深めることができました。





自分たちの力でやり遂げたこの2日間の経験は、子どもたちにとって大きな自信となったことと思います。この野外教育活動で学んだ「自立」と「メリハリ」の気持ちを、これからの学校生活にも生かしてほしいと願っております。そして、何より「感謝」の気持ちを学ぶことができたと思います。自分だけの力ではなく、家の人や先生たち、友達に支えられてこの野外活動に行くことができたと感じてくれた子が多く、とてもうれしく思いました。